

4. 入学試験

入学試験は、一般入学試験、社会人入学試験、外国人入学試験の3つに区分して実施します。専攻ごとの詳細は下記をご確認ください。

【入学試験に関する注意事項】

1. 試験当日は、**試験開始 15 分前**までに試験場および口頭試問控室に集合してください。
2. **原則として遅刻者の受験は認めません。**ただし、当日の最初の筆記試験科目に限り、試験開始後 30 分以内の遅刻入室を認めます。
3. **試験場には時計の設備がありませんので、各自時計を持参してください。**なお、時計は時間を計る機能のみのものとし、スマートウォッチなどの腕時計型端末の使用は認めません。
4. 試験時間中の辞書等の使用は認めません。

1) 心理学専攻の入学試験について

入学者の選考は、各区分とも筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価して行います。

試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割

試験期日	科目・時間 注(1)		試験場 (新座キャンパス)
2025 年 2月 19 日(水)	9:30~10:30 英語 注(2)	11:10~12:10 心理学	2号館2階 N222 教室
	14:00~ 口頭試問		2号館2階 N224 教室 (控室)

注(1) 筆記試験および口頭試問は日本語で行います。ただし、「英語」の解答については問題の指示に従ってください。

注(2) 英語資格・検定試験のスコア・級に関する証明書を出願時に提出することで、「英語」筆記試験に代えることができます。また、証明書を提出したうえで「英語」筆記試験も受験すること、および種類の異なる英語資格・検定試験の証明書を複数提出することも可とし、いずれの場合も評価点の最も高いものに基づいて選考を行います。

【英語資格・検定試験のスコア・級に関する証明書についての注意事項】

1. 証明書を提出する者は、**以下のいずれを希望するかを記載したメモ(書式自由)を作成し、証明書と一緒にアップロードして提出してください。**なお、出願後に希望を変更することはできません。
 - ① 証明書の提出のみを希望する(「英語」筆記試験の受験は希望しない)
 - ② 「英語」筆記試験の受験も希望する
2. 提出できる資格・検定試験の証明書は以下の通りです。入学試験実施月から過去2年以内の試験で取得したものを有効とします。

- ・ 実用英語技能検定(英検)2級以上(英語4技能に限る)
- ・ GTEC CBT
- ・ IELTS
- ・ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)
- ・ TOEFL iBT
- ・ TOEIC L&R および TOEIC S&W (両方のスコアを提出すること)
- ・ Cambridge English (ケンブリッジ英検)

2) 映像身体学専攻の入学試験について

入学者の選考は、各区分とも出願書類、選択する系統に応じて指示された「卒業論文等」「制作物」(9頁参照)、筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価して行います。

試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割

試験期日	科目・時間 注	試験場 (新座キャンパス)
2025年 2月19日(水)	11:10~12:10 英語	2号館2階 N221 教室
	15:00~ 口頭試問	2号館2階 N224 教室 (控室)

注 筆記試験および口頭試問は日本語で行います。ただし、英語の解答については問題の指示に従ってください。

《重要》出願から修士論文(修了制作含む)作成に至るまでの系統選択について

映像身体学専攻博士課程前期課程の志願者は、出願時に < 論文系 / 制作系 > のいずれかを選択してください。

- < 論文系 > : 修士論文として論文執筆を行う者
 < 制作系 > : 修士論文として作品制作を行う者

(趣旨)

出願時に < 論文系 / 制作系 > のいずれかを選択することは、映像身体学専攻が入学時から修士論文(修了制作含む)に向けた指導を丁寧に行うことをねらいとしています。入学後は、この選択に基づき研究指導を受け、修士論文(修了制作含む)を作成するものとします。そのため、出願時に選択する < 論文系 / 制作系 > の選択内容について、出願後の変更を認めません。

研究計画書は評価の対象となります。「未定」とすることは認めません。あなたが先行研究・先行作品を調査・検討した内容や、入学後の2年間で修士論文(修了制作含む)を仕上げられることがうかがえるような、研究計画の実現可能性などについても研究計画書に言及してほしいと考えています。

なお、映像身体学専攻が開講する科目は < 論文系 / 制作系 > によらず展開されるため、この選択によって履修する科目が制限されることはありません。

また、各教員の専攻領域および< 論文系 / 制作系>の指導領域は下記のとおりですので、指導希望教員選択の参考にしてください。

教員名	専攻領域	系統
江川 隆男	西洋近現代哲学、現代思想、精神と身体の哲学、身体倫理論	論文系
日高 優	映像身体学、写真研究、絵画等の視覚芸術研究	論文系
加藤 千恵	古代中国の身体観・宇宙観・生命観、道教思想史	論文系
田崎 英明 注1	身体社会論、ジェンダー/セクシュアリティ理論、身体政治論	論文系
横山 太郎 注2	日本の身体思想・身体文化、演劇	論文系
大山 載吉	映像身体学、哲学	論文系
滝浪 佑紀	映像身体学、映画メディア論	論文系
宮本 裕子	映像、アニメーション	論文系
篠崎 誠	映画制作、映像制作	制作系
砂連尾 理	ダンスの振付、演出、身体ワークショップ	制作系
樋本 淳	映像制作、映像演出 撮影・編集技術	制作系
松田 正隆	戯曲・シナリオ創作、演劇・パフォーマンスの研究	制作系

注1 2025年度未退職予定

注2 2025年度研究休暇予定